

あいち健康福祉ビジョン 年次レポート（素案） （平成24年度版）

目 次

年次レポートの趣旨・構成について・・・p1～2

1 特 集・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p3～18

- (1) 児童虐待防止対策
～すべての子どもに明るい笑顔を～
- (2) 見守りが必要な高齢者への支援
～支え合うあたたかな地域づくり～

2 新たな課題への対応・・・・・・・・・・ p19～26

災害医療体制の再構築

3 主要な目標の進捗状況・・・・・・・・・・ p27～38

- (1) 福祉
 - ① 高齢者がいきいきと暮らせる社会へ
 - ② 子どもと子育てにあたたかい社会へ
 - ③ 障害のある人が安心して暮らせる地域社会へ
- (2) 保健・医療
 - ① 誰もが健康で長生きできる社会へ
 - ② 必要な医療が受けられる社会へ
- (3) 地域
健康福祉の地域力が充実した社会へ

年次レポートの趣旨・構成について

「あいち健康福祉ビジョン」（以下「ビジョン」という）では、目指すべき健康福祉社会像としての「基本理念」、健康福祉分野に共通する「基本とする視点」を掲げた上で、6つの「分野」について本県の健康福祉行政の進むべき方向性と主要な取組を示しています（下表参照）。

ビジョンの推進にあたっては、健康福祉を取り巻く状況の変化や課題を的確に把握した上で、取組の実施状況の評価を行っていくことが必要であり、そのため、毎年度、「年次レポート」を作成・公表することとしています。その構成は、次頁のとおりです。

基本理念	ともに支え合う安心・健やかで幸せなあいち ～『あいち健幸（けんこう）社会』の実現
基本とする視点	<ul style="list-style-type: none"> ① 家庭の機能を支える ② 地域全体で支え合う ③ 一人ひとりの生き方と可能性を尊重する ④ 予防・早期対応を重視する ⑤ 持続可能なシステムを構築する ⑥ 役割分担を明確化する
分野	<ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者～高齢者がいきいきと暮らせる社会～ ② 子ども～子どもと子育てにわたたかい社会～ ③ 障害のある人 ～障害のある人が安心して暮らせる地域社会～ ④ 健康 ～誰もが健康で長生きできる社会～ ⑤ 医療 ～必要な医療が受けられる社会～ ⑥ 地域 ～健康福祉の地域力が充実した社会～



1 特集

- 毎年度テーマを設け取組状況を検証します。テーマの設定にあたっては、社会的に関心の高い事項や、新たな動向が見られた施策等について取り上げていきます。
- 今年度は、児童虐待相談対応件数の増加や、一人暮らし高齢者の増加と高齢者の孤立化などの社会的背景を踏まえて、「児童虐待防止対策」と「見守りの必要な高齢者への支援」の2つをテーマとします。

2 新たな課題への対応

- 制度改正や社会状況の変化に伴う新たな課題が生じた場合には、年次レポートの中で、取組の方向性を明らかにしていきます。
- 災害医療体制の整備は、特に大規模災害時に人命を守る上で最も重要ですが、平成23年3月に発生した東日本大震災は、これまでの災害医療体制に様々な課題があることを明らかにしました。そこで、今年度の年次レポートでは、災害医療体制を再構築するための考え方について示していきます。

3 「ビジョンの主要な目標」の進捗状況

- ビジョンに掲げた「主要な目標（38項目）」の進捗状況を把握・評価します。

